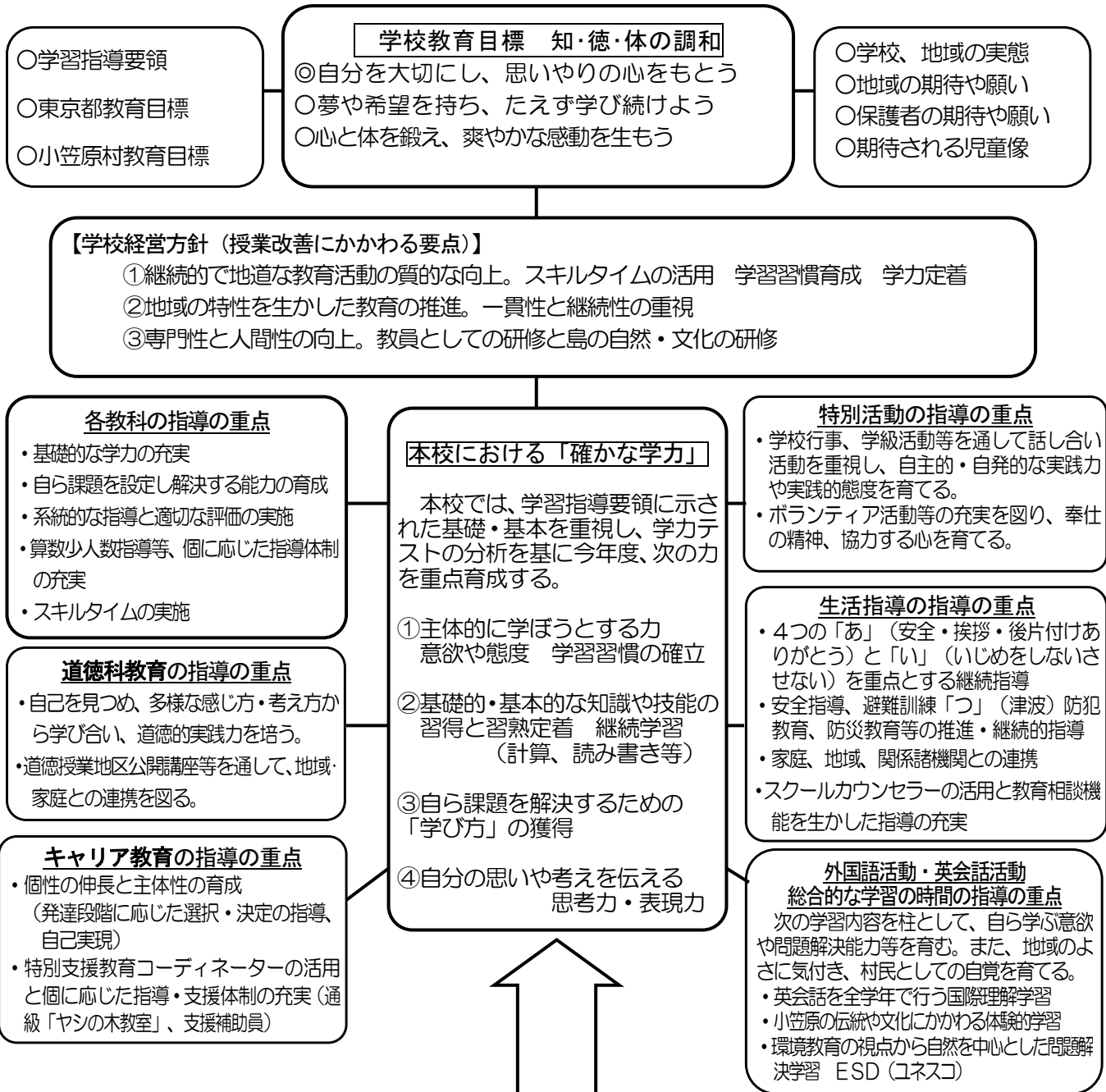


授業改善推進プラン 全体計画

平成30年度 小笠原小学校



本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	学習指導の工夫・改善	評価・評定の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的な内容の確実な定着に必要な授業時数の確保と余剰時間の活用 ・国語と算数を中心として基礎的な学力の定着を図る「スキルタイム」の実施 ・読解力や豊かな心を育む「朝読書タイム」の実施 ・長期休業中の「学びの場（基礎・基本の補習）」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動の充実により意欲関心を持続させる授業展開の工夫 ・反復学習の充実 ・問題解決学習における段階ごとの指導の工夫 ・学習規律、ルールの全校体制による指導の徹底、系統性 ・支援員の効果的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価規準に基づいた指導計画、評価計画の作成・活用 ・週ごとの指導計画を生かした授業改善の視点の明確化 ・学習カードの活用や観察等による児童の学習状況の把握と個に応じた指導 ・学習支援の充実と週単位の共通理解と評価 ・通知表の評価規準の明確化と保護者への説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の授業力向上のための研究授業、協議会の実施 ・教員同士が日常的に互いの授業を見合う機会の設定 ・教員が教科等の専門性を高めるための研修の工夫 ・学力調査の結果分析、課題把握による授業改善推進プランの作成 ・島しょ研修会、都教委訪問等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、児童による授業評価の分析 ・図書ボランティアによる読み聞かせの時間の設定 ・地域の施設や人材の活用 ・学校公開、運動会、行事等による学校の教育活動への理解の充実 ・保護者会等による基本的な生活習慣や家庭学習の習慣化への協力依頼（調査・分析・公表）

平成30年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 1年生

補…補充的な改善内容 発…発展的な改善内容

	各教科の課題	具体的な授業改善策
国語	○ひらがな・カタカナの習得	○基礎学習時間の確保 補・スキルタイムや家庭学習での継続。家庭との連携。 発・国語科以外での活用場面の設定。
算数	○加法・減法の意味理解	○言語の視覚化 補・合併、増加、減少、差の言語を視覚化。文章問題における立式の根拠。 発・学級内習熟度別指導の実施。児童の実態に応じた演習量・難易度の選択。
生活	○諸感覚を使った記録	○国語科との連携 補・国語科で学習したことの活用。モデルとなる言語表現を選択したり、自ら考えたりして表現する。 発・動植物の世話と記録を続けることにより、変化の違いへの気付きを促す。
音楽	○表現技能の定着	○基礎的な表現技能を楽しく定着させる授業の工夫 補・スモールステップによる指導を行い、「できた」を積み重ねていく。 発・児童の実態に応じて、楽曲の難易度を選択できるようにする。
図工	○造形的な基礎技能の定着	○創造活動を楽しみながら基礎技能の定着ができる授業の推進 補・スモールステップによる段階的な制作。自己有能感を高める声かけ。 発・児童の実態に応じた発展題材を用意し、確実な定着を図る。

平成30年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 2年生

補…補充的な改善内容 発…発展的な改善内容

	各教科の課題	具体的な授業改善策
国語	○書く能力の向上	○基礎基本を充実させた授業の推進 補・文章を書く機会の充実。 発・書いた文章を発表するなど活用。
算数	○基礎基本の定着	○具体的な場面を取り入れた授業の推進 補・場面や数の意味が具体的にイメージできる指導の徹底。 発・時計、長さ、かさなど生活場面での活用。
生活	○身近な環境の学びの充実	○豊かな活動や体験を確保した授業の推進 補・動物や植物との関わりを増やすなど、自然への興味・関心の向上。 発・気付きや楽しさを言葉や絵で表現する機会の設定。
音楽	○表現技能の向上	○表現技能を楽しく身に付けさせる授業の工夫 補・基礎的な技能定着のための、変化のある反復練習や部分練習。 発・楽曲の完成度の向上や学び合いの機会設定。
図工	○表現技能の向上	○創造活動を楽しみながら基礎技能の向上ができる授業の推進 補・課題前の練習題材。 スモールステップによる失敗しない制作。 発・話し合い活動の積極的な設定。 補助題材による反復練習。

平成30年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 3年生

補…補充的な改善内容 発…発展的な改善内容

	各教科の課題	具体的な授業改善策
国語	○書く能力の向上	○基礎基本を抑えた学習の推進 補・「イメージマップから話題を膨らませる→はじめ・中・終わりの段落構成を意識して書く→推敲」という学習サイクルの継続。 発・書いた内容を簡単にまとめ、説明し、よりよい表現を考える学習。
社会	○知識・理解の向上	○知識を意欲的に獲得する授業の推進 補・授業の開始時の学習用語の確認。反復を通じた定着。 発・習得したことを生活の中の疑問の解決に役立てることができる。
算数	○数学的な考え方の向上	○数学的に考えられる授業の推進 補・基礎の計算方法の反復だけでなく、計算の仕方を考える学習を取り入れる。 発・発展問題に取り組めるように解決の時間を確保する。
理科	○知識・理解の向上	○知識を獲得できる授業の推進 補・ミニテストの反復で理科の用語を押さえる。 発・習得したことを生活の中の疑問の解決に役立てることができる。
音楽	○表現技能の向上	○楽しみながら技能を向上させる授業の推進 補・反復練習を様々なバリエーションで行い、技能の定着を図る。 発・様々な楽曲に取り組み、習得した技能を活用できるようにする。
図工	○表現を深める 造形意欲の向上	○子供の「こうしたい」を引き出す授業の推進 補・表し方の具体的な工夫の演示。 造形的要素に着目する声かけ。 発・試行錯誤の時間確保。 話し合い活動の積極的な設定。

平成30年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 4年生

補…補充的な改善内容 発…発展的な改善内容

	各教科の課題	具体的な授業改善策
国語	○言語の知識・理解の定着と読む力の向上	○言葉の力を身に付け、活用できる授業の推進 補・辞書引きによる語彙の獲得。 心情を表す叙述の確認。 発・並行読書による読む力の活用。
社会	○思考・判断・表現力の向上	○具体的資料を活用した授業の推進 補・複数の資料の比較・関連。 ノート指導。 発・「自分にできること」という視点での思考。 社会参画の意識向上。
算数	○一人一人の学びの充実	○一人一人の課題に応じた授業の推進 補・少人数指導による支援の充実。 課題把握とスキルタイムの活用。 発・学び合いによる課題解決、 自主学习での復習、応用の推進。
理科	○基礎の定着と表現力の向上	○分かったことや自分の考えが明確なノート指導の工夫 補・穴埋めやキーワードを ヒントにした考察や結論の記述。 発・科学的な概念を適用した 日常生活の事象の説明。
音楽	○表現技能の向上	○自分の声や音と友達の声や音を調和させる楽しさを味わえる授業の工夫 補・自然で無理のない声で歌えるための技能指導の充実。 発・友達の演奏を聴き、合わせて演奏する機会の充実。
図工	○表現技能の向上	○新しい技能の確実な定着と楽しみながら技能の向上を目指す授業の推進 補・試行錯誤の時間確保。 視覚的な資料の充実。 発・造形的な要素に着目する声かけ。 話し合い活動の積極的な設定。

平成30年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 5年生

補…補足的な改善内容 発…発展的な改善内容

	各教科の課題	具体的な授業改善策
国語	○書く能力の向上	○基礎基本を抑えた学習の推進 補・既習漢字を漢字テストで繰り返し取り組み、定着を図る。 発・単元の内容をまとめ、説明させる学習に取り組む。
社会	○知識・理解の向上	○知識を意欲的に獲得する授業の推進 補・一般的な言葉を含め、社会科の用語を授業内でノートに確認して定着させる。 発・メールなどを利用し現地の方に直接疑問を質問するなどして学習に生かす。
算数	○思考・分析力の向上	○自分の考えをまとめ、表現できる授業の推進 補・基礎の計算方法の反復だけでなく、計算の仕方を考えさせる授業を行う。 発・計算の仕方を自分の言葉や図でノートにまとめさせ、発表させる。
理科	○知識・理解の向上	○知識を意欲的に獲得する授業の推進 補・ミニテストの反復で理科の言葉を押さえて学習する。 発・最新の情報を知るためにインターネットを活用し学習する。
音楽	○表現技能の向上	○できるようになった喜びを味わえる授業の推進 補・できるまで繰り返し指導し、できた喜びを実感させる。 発・難易度や完成度の向上、学び合いの機会の充実を図る。
図工	○一人一人の思いを大切に活動の充実	○一人一人の課題に応じた授業の推進 補・少人数指導による支援の充実。 発・造形要素に着目した声かけ。 表現を深められるような話し合い活動の充実。

平成30年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 6年生

補…補足的な改善内容 発…発展的な改善内容

	各教科の課題	具体的な授業改善策
国語	○言語についての知識の定着	○基礎・基本の定着を重視した授業の推進 補・高学年の漢字の予習&復習。 週に2回の漢字小テスト実施。 発・説明文、慣用句、熟語などの演習を重ねる。
社会	○社会的事象への関心・意欲・態度の向上	○一人一人が主体的に考える授業の推進 補・実物、写真、映像資料の活用。 発・調べ学習（新聞作り）による興味・関心の向上。
算数	○基礎・基本の定着 5年生の復習をしっかりと！ ○習熟度別指導	○基礎・基本的事項の定着を徹底する授業の推進 補・高学年の単元の復習。 週に2回の計算テスト実施。 発・量と測定、図形、数量関係などの総合問題（学テ）の問題演習。
理科	○一人一人の学びの充実	○学習の流れが明確な授業の推進 補・実験のねらいや方法の明確化。 発・ノート指導の強化。 要因や規則性、関係を推論し調べる。
音楽	○表現意欲の向上	○上達する喜びを味わい、意欲的に取り組めるような授業の推進 補・段階を踏んで指導し、安心して声や音を出せる雰囲気作りをする。 発・表現の仕方を試行錯誤する時間を確保し、自分なりの考えをもって表現できるようにする。
図工	○主体的な学習意欲の向上	○自分の思いを膨らませ、意欲的に取り組めるような授業の推進 補・完成までの過程を楽しめるような声かけ。児童の実態に合った題材の精選。 発・試行錯誤の時間を確保し、見通しをもった計画的な活動ができるようにする。